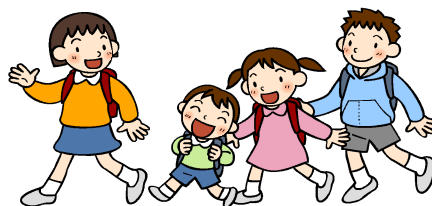


「純朴にしてたくましい子ども」をめざした、学力向上の取り組み ～令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果と考察～

1 学力状況調査の結果

今回の調査における北山小学校の平均正答率は、国語は県及び全国を若干下回り、算数は県及び全国と同程度、理科は県及び全国を大きく上回る結果となりました。具体的には、以下の傾向が捉えられました。



(1) 国語

「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」の内容は比較的よくできていますが、「書くこと」の内容はさらに力をつけていく必要があります。具体的には、情報と情報を関連付けて活用したり、インタビュー等から相手の話を理解し自分の考えをまとめたりする学習はよくできていますが、図や表を用いて書き表し方を工夫したり、文章の要旨を把握したりする学習は、さらに力がつくよう工夫していきます。

(2) 算数

「数と計算」「図形」「データの活用」「変化と関係」の内容は、全国・県と同程度にできており、「測定」の内容は他よりもよくできていました。具体的には、資料から必要な情報を選び計算することや角の大きさの理解、はかりの目盛を読む学習はよくできていますが、図形の作図や分数の足し算や数直線の読み取り、伴って変わる2つの量については、さらに理解を深めていきます。

(3) 理科

「エネルギー」「地球」「粒子」の内容はよくできており、「生命」の内容は全国・県と同程度にできていました。具体的には、実験方法を発想することや実験結果を予想することがよくできています。また、電磁石や乾電池のつなぎ方、花のつくりや受粉、水の結露や行方についてよく理解しています。

2 学力状況調査の結果をもとにした今後の取り組み

・国語・算数共に、情報を活用する力が比較的身に付いています。学校図書やタブレットを用いて、自ら見出した課題について調べる学習を大切にします。今行っている学習に関係する本を身近に置くなど、情報に触れることのできる環境づくりにも取り組みます。



・図や表を用いて書き表し方を工夫することに苦手さが捉えられ、自分の考えをわかりやすく文章にまとめる学習の充実を図っていきます。また、朝読書、読み聞かせ、図書館の利用など、子どもたちが本に親しむ機会を今後も大切にしていきます。



・国語の話すこと・聞くことに関する内容が比較的よくできています。北山小では今年度、授業における対話の充実に取り組んでいます。友達と話し、考えを聞きながら問題解決に当たる機会を、今後も各教科において日常的に設けていきます。



・分数の足し算や数直線上に表された数を分数で表すことに苦手さがあります。児童質問紙でも、「小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しよ

うとしている」と回答する子どもが6割ほどであり、学習が受け身にならぬよう、答えを出すことをゴールとする学習だけでなく、なぜその答えになるのかを友達と考え合う学習に取り組んでいきます。

- ・理科については、予想を明確にして実験を行うことや、めだかや植物の観察など実物を通して学ぶことが、興味・関心や理解力の高まりにつながっていると考えます。理科に限らず、恵まれた自然環境等を生かしながら、北中区でめざす体験をもとに探究的に学ぶことを引き続き大切にします。

3 学習状況調査(児童質問紙)の結果

日頃の学校生活や学習に関する、選択式による質問紙の結果は以下の通りです。

「あてはまる」「している」を選択する子どもが9割以上の主な項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- ・先生は、テストや授業で間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると考えますか
- ・国語の勉強は得意ですか
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか
- ・理科の勉強は得意ですか
- ・理科の勉強は好きですか
- ・理科の授業の内容はよく分かりますか

「あてはまる」「している」を選択する子どもが半数以下の主な項目

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・新聞を読んでいますか

4 学習状況調査の結果をもとにした今後の取り組み

- ・全ての子どもが「自分には、よいところがある」と回答しています。その思いを大切にしながら、一人一人の多様性や力、よさを伸ばす支援を職員全体で継続していきます。
- ・全ての子どもが「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答しており、普段の生活からもそのことが感じられます。学級活動や児童会活動のなかで、自分たちで自分たちの生活を作る意識を持てるよう、「自ら考える」指導を継続していきます。
- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると全員が回答しており、自分たちが今学んでいることと実際の生活場面を繋げながら、学びの手ごたえが感じられるよう指導を進めます。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答する子どもが全体の半数ほどであり、自分の悩みや困り事を心の内に留めてしまうことを心配します。相談週間を学期ごと設け、話しやすい職員と話す場を設定するなど取り組んでいます。また、何か困ったときに、どの先生にでも助けを求められるよう、「全職員で全ての子どもを育てる」ことを大切に、日常的な声掛けや相談しやすい雰囲気作りなど心がけていきます。



北山小美術館

11月25日(月)～12月5日(金)の2週間、職員玄関奥のスペースで、校内図工展に合わせて茅野高校の生徒の皆さんが美術学習で制作した作品を飾ります。お気軽にご覧いただければと思います。